

会 議 録

（ 12 - 1 ）

会 議 の 名 称		令和 7 年度 第 2 回 春日部市立医療センター運営委員会	
開 催 日 時		開 会	午後 1 時 3 0 分
		閉 会	午後 2 時 3 0 分
開 催 場 所		春日部市立医療センター 3 階 多目的ホール	
議長(会長等)氏名		鬼丸 裕史(委員長)	
出席者	委員氏名	(出席人数：13人)	
		木下 三枝子、永田 飛鳳、水沼 日出夫、阿部 雅一、中村 貴彰、	
		鬼丸 裕史、吉田 稔、荒木 洋美、竹田 広樹、岡田 新司、	
		今井 良仁、村田 睦剛、高橋 靖	
	説明者 その他	(出席人数：6人)	
		病院事業管理者 三宅 洋、病院長 有馬 健、	
		副院長 中村 靖史、看護部長 笠原 洋子、	
		事務部長 神谷 司、健康保険部長 松本 英彦	
	事務局	(出席人数：8人)	
		経営財務課長 渡邊 正樹、医事課長 桑原 隆、	
		看護専門学校副学長 高橋 和恵、	
		看護専門学校総務担当課長 小林 和彦、	
		総務課総務担当主幹 野田 律介、	
		経営財務課経営財務担当主幹 古宮 敦己、	
		経営財務課経営財務担当主幹 木本 淳次、	
		管理課調達担当主幹 関根 崇	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1 開会	
		2 病院事業管理者挨拶	
		3 議事(全て公開)	
		(1) 報告事項	
		① 令和 7 年度春日部市病院事業会計補正予算(案)について	
		② 令和 7 年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算(案)について	
		③ 令和 7 年度春日部市立医療センター運営状況について	
		④ 緩和ケア内科の新設について	
		(2) その他	
		4 閉会	

一部公開・非公開 の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：
配 布 資 料	1 令和7年度第2回春日部市立医療センター運営委員会次第 2 令和7年度第2回春日部市立医療センター運営委員会資料 3 令和7年度第2回春日部市立医療センター運営委員会に係る質問及びご意見について
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>【 1 開会】</p> <p>ただいまから令和 7 年度第 2 回春日部市立医療センター運営委員会を開会いたします。</p>
病院事業管理者	<p>【 2 病院事業管理者あいさつ】</p>
事務局	<p>ここで会議についてご報告いたします。</p> <p>運営委員会条例第 6 条第 2 項の規定に基づく定足数に達しておりますので会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>それでは、条例第 5 条第 2 項の規定に基づき、議事の進行を鬼丸委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>議事に入る前に、春日部市附属機関等の会議の公開に関する要綱第 3 条の規定に基づき、本日の議事は、すべて公開することとしましたのでご報告いたします。</p> <p>また、本日の会議には傍聴の申し込みはございませんでした。</p>
議 長	<p>【 3 議事】</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議事の（１）は「報告事項」でございます。</p> <p>はじめに、①令和 7 年度春日部市病院事業会計補正予算（案）に関する事項を議事といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p>
事務局	<p>（事務局説明）</p> <p>（事前質問）</p> <p>1 収益的収入および支出で、1 款病院事業収益の県費補助金の概要をお願いします。（対象医療施設、使用目的、申請等）</p> <p>2 支出の材料費、薬品費の増額補正ですが、大幅な増額となっています。理由、内容等と治療件数の推移について伺いたい。見込みはどうだったのかについてお願いします。</p> <p>3 同じく材料費で診療材料費の増額補正についても同様にお願いします。手術件数について、昨年度は受け入れ体制を強化したこ</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>とで手術件数の増加となり補正をおこなったと思いますが、今年度の見込みなどについてどうだったのか、どのような手術が増加しているのか、受け入れ体制について問題はないのか伺います。</p> <p>(回答)</p> <p>1 県費補助金の医療提供施設等光熱費等高騰対策支援金の概要でございますが、対象医療施設及び使用目的につきましては、病院、医科・歯科診療所、調剤薬局などの医療提供施設に対し、光熱費等の物価高騰の影響の一部を緩和するために交付されるものです。</p> <p>また、申請等につきましては、令和7年6月4日に交付申請し、8月21日付けで交付決定、9月26日に交付されております。交付決定が9月の補正予算編成時期に間に合わなかったことから、12月の市議会定例会に上程する補正予算に計上するものです。</p> <p>2 薬品費の増額の主な要因につきましては、抗がん剤治療件数の増加によるものです。抗がん剤治療件数は、それまで月平均500件前後の横ばいであったものが、令和6年度下半期が589件、令和7年度上半期が623件と推移しており、令和6年度下半期から急激に増加している状況です。</p> <p>令和7年度の薬品費につきましては、ほぼ横ばいであった抗がん剤治療件数を基に見込んでいましたが、令和6年10月に呼吸器外科の医師を1名増員したこともあり、当初の見込みより治療件数が増加したものです。</p> <p>3 診療材料費の増額の主な要因につきましては、手術件数の増加によるものです。令和7年度上半期の手術件数は、令和6年度上半期と比較し、泌尿器科で53件、外科で31件増加したほか、1症例あたりの診療材料単価が比較的高い、整形外科で35件、呼吸器外科で34件増加しており、全体で158件の増となっております。</p> <p>令和7年度の診療材料費につきましては、令和6年度に整備した内視鏡手術対応の手術室の積極的な活用による手術件数の増加を見込んでいました。そのような中で、更なる手術件数増加の取組として、手術の開始時間を前倒したことや、整形外科医を令和7年6月から1名増員したことにより、当初の見込みより手術件数が増加したものです。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p>事務局</p> <p>議 長</p> <p>事務局</p>	<p>なお、手術の受け入れ体制につきましては、必要な職員を配置できており、現時点で特に大きな課題はございません。</p> <p>(委員質問)</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p> <p>《特になし》</p> <p>ご質問等が無いようでしたら、①令和7年度病院事業会計補正予算（案）につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、②令和7年度看護専門学校特別会計補正予算（案）に関する事項を議事といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>(事前質問)</p> <p>令和7年度の異動となりますが、異動職員の職務内容と職員数の推移をお願いします。(令和5年度、6年度、今年度移動後の職員数)職員の補充についてはどうお考えかお伺いします。</p> <p>(回答)</p> <p>令和7年度定期人事異動に伴い異動した職員につきましては、総務担当課長1名の配置換えと、令和6年度末に退職した教務担当職員2名の補充として選任教員を2名採用したものです。</p> <p>総務担当課長の職務につきましては、学校運営全般の統括に加え、予算・決算の管理、条例や規則の整備、広報活動および議会対応などです。また採用した専任教員2名は主に学習指導と臨地実習の指導を担当しており、学生の教育支援に当たっています。</p> <p>看護専門学校の職員数につきましては、令和5年度、令和6年度、令和7年度のいずれも各年度15名です。これに加えて、学校長が春日部市立医療センターの病院長を兼務しており、学校長の人件費は病院事業会計の予算で計上されています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	職員数につきましては、国が定める「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」により、学生定員に対する専任教員数が規定されているため、基本的には退職者の補充を中心に必要人員を確保し運営しています。
議 長	<p>(委員質問)</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p> <p>《特になし》</p> <p>ご質問等が無いようでしたら、②令和7年度看護専門学校特別会計補正予算（案）につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、③令和7年度春日部市立医療センター運営状況に関する事項を議事といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p> <p>(事前質問)</p> <p>1 外来患者数、外来収益額の昨年度からの増加理由をどう見ているのか、今後の動向についてもお願いします。待ち時間の改善については患者さんの声としてはいかがでしょうか。</p> <p>2 一般外来は全ての診療科で受診できているのか伺います。(医師、看護師体制等)</p> <p>3 外来窓口等でマイナ保険証や古い保険証の期限切れ、資格確認書についての受付時のトラブルなどについて状況や対応をお願いします。</p> <p>4 上半期のコロナ患者受け入れ等の状況、インフルエンザ患者の状況等と発熱時の対応について伺います。</p> <p>5 病床利用率について昨年度下半期に引き続き高い水準で推移しているようですが、現状と、職員体制など患者受け入れ体制について課題がありましたらお願いします。</p> <p>6 入院収益の昨年度からの増加傾向について理由を伺います。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>(回答)</p> <p>1 外来患者数、外来収益額の増加の主な要因につきましては、選定療養費の徴収開始による影響や発熱外来の休止などにより、令和6年度上半期の外来患者数は一時的な減少傾向にありましたが、紹介受診重点医療機関として紹介、逆紹介のサイクルが軌道に乗り始めたことにより、外来患者数が回復してきたことや、抗がん剤件数の増加による薬品費の増額により、診療単価が増加したことによるものと考えております。</p> <p>今後におきましても、このサイクルを円滑に進めるため、集患活動の範囲を広げるなど外来患者の増加に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>会計窓口の待ち時間緩和に向けた取組につきましては、直近3か月の会計時の待ち時間の平均が11分程度であり、例年実施している「患者満足度調査」においては、「体感的に会計待ち時間が長い、やや長い」の回答割合が、令和5年度で42.3%、令和6年度で41.2%と改善傾向にありますが、長いと感じている割合が4割を占める状況でございます。</p> <p>このような現状を受け、受付業務を行う事業者との毎月の定例会において協議、意見交換を行い、会計時の待ち時間の目標を10分以内と設定し、目標達成に向け、職員の増員や配置の見直しなどの取組を適宜進めております。</p> <p>2 一般外来におきましては、精神神経科を除き、全ての診療科で一般の外来で受診可能となっております。精神神経科が一般の外来受診できない理由でございますが、精神神経科は当センターに身体疾患で入院している患者で、精神症状を伴う場合に診察を行っていることや、緩和ケア病棟等で、がん患者のフォローを行っていることによるものです。</p> <p>外来における職員体制につきましては、必要な部署に必要な職員を配置できており、現時点で特に大きな課題はございません。</p> <p>3 保険証の期限切れによる外来窓口等でのトラブルにつきましては、特に大きな混乱はなく、期限切れの保険証をお持ちの患者への対応として、住民票のある市町村役場などの各保険者に確認を取っていただくなど丁寧にご案内しております。</p> <p>更に、マイナ保険証につきましては、有効期限が切れてもその後3か月間は使用可能であり、既存の保険証につきましては、マ</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>イナ保険証の手続きをされている方は、マイナ保険証をお持ちでなくてもオンライン資格確認によって確認が取れば保険診療が可能となります。</p> <p>4 上半期の新型コロナウイルス感染症患者とインフルエンザ患者の受け入れ状況につきましては、院内全体で実施した検査数をお答えします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者につきましては、4月は検査数839件に対して陽性者23人、5月は検査数735件に対して陽性者15人、6月は検査数773件に対して陽性者9人、7月は検査数795件に対して陽性者29人、8月は835件に対して陽性者35人、9月は812件に対して陽性者35人となっております。</p> <p>インフルエンザ患者につきましては、4月は検査数166件に対して陽性者0人、5月は検査数115件に対して陽性者0人、6月は検査数85件に対して陽性者0人、7月は検査数81件に対して陽性者0人、8月は検査数106件に対して陽性者1人、9月は検査数134件に対して陽性者2人となっております。</p> <p>次に、発熱患者の対応につきましては、他の患者との交差を避けるため、一般外来4か所、救急外来1か所にクリーンパーテーション（医療機関向けパーテーション型空気清浄機）で仕切ったスペースにご案内し、医師の指示により、スペース内で新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの検査を実施し、陽性の場合はスペース内で会計まで実施しております。</p> <p>5 病床利用率の現状につきましては、令和6年度上半期に72.5%であったものが、下半期に82.4%まで上昇し、令和7年度上半期は若干減少したものの79.3%で推移しています。</p> <p>入院患者の受け入れ体制につきましては、必要な部署に必要な職員を配置できており、現時点で特に大きな課題はございません。</p> <p>6 入院収益の増加の主な要因につきましては、集患活動や積極的な救急患者の受入により、入院患者数が増加していることに加え、抗がん剤治療件数や手術件数の増加により入院単価が増加していることによるものと考えております。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	<p>(委員質問)</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p> <p>《特になし》</p> <p>ご質問等が無いようでしたら、③令和7年度春日部市立医療センター運営状況につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、④緩和ケア内科の新設に関する事項を議事といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p> <p>(事前質問)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緩和ケア内科の新設とありますが、今までの緩和ケア病棟との違いについて伺います。また、入院期間について伺います。 2 市内の緩和ケア病棟、入院のできる病院は他にどのくらいあるのか、東部医療圏で初となる施設基準という点は他の病院とどう違うのかをお願いします。 3 一部差額ベッド代が発生する病室は何か所で、理由をお願いします。 <p>(回答)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今までの緩和ケア病棟との違いにつきましては、緩和ケア病棟入院料1の施設基準を満たすため、緩和ケア病棟専任の看護師（14名）を配属するなど体制を強化したことにより、これまで段階的に受け入れてきた患者を10床全床で受け入れることができるようになったことです。 <p>また、入院期間につきましては、平均在院日数は2週から3週で、症状が緩和した場合は、在宅や療養先に繋げ、症状が悪化した場合やレスパイトケア時には再入院できる体制を整えています。</p> <p>なお、現在の平均入院期間は約16日となっています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>2 緩和ケア病棟で入院できる春日部市内の病院につきましては、緩和ケア病棟入院料2の診療報酬加算を届出している南部厚生病院と当センターの2施設になります。</p> <p>当院が届出を行った緩和ケア病棟の「入院料1」と他の病院の「入院料2」の違いにつきましては、1日あたりの入院料（診療報酬）になります。具体的には、30日以内の入院において、入院料2で48,970円（4,897点）に対して入院料1で51,350円（5,135点）であり、比較すると2,380円（238点）高くなります。</p> <p>3 差額ベッド代が発生する病室につきましては、531号室と540号室の2床ありますが、この2部屋につきましては、広さや設備、プライバシーの確保などの面において比較的充実した環境を整備できていることにより差額ベッド代が発生するものです。</p>
議 長	<p>（委員質問）</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p>
委 員	<p>緩和ケア内科は最終的に在宅を目指すものなのでしょうか。</p>
病院長	<p>在宅と看取りの両方になります。</p>
議 長	<p>ご質問等が無いようでしたら、緩和ケア内科の新設につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、議事の（2）は「その他」でございます。</p> <p>委員の皆様からご質問、ご意見等何かございますでしょうか。</p>
委 員	<p>医療センターに患者を紹介する場合、地域医療連携室を経由してお願いするケースが多いが、患者の症状など事情によっては、担当の医師に繋いでいただくホットラインの開設をお願いしたい。例えば、血液内科の場合は、県内でも限られた病院しか対応できないのだから、急性骨髄性白血病のように一刻を争う場合は、医療センターにお願いするしかないという場合がある。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
病院長	その件に関しては、院内で検討してまいりました。実際にはクリーンルームの用意ができない場合は受け入れることができないこともあります。さらに調整してまいります。
委 員	患者によってはリスクが高い方もいるので、1日1人でも2人でも医師会専用の紹介枠を設けていただけるとありがたい。越谷市立病院は紹介枠があり、緊急の場合は医師同士のホットラインでやっている。
病院長	紹介枠をトップのところに1個設けておいて入ってこなければ他の患者を診るというシステムができるかもしれないので、院内で検討します。
委 員	先日、私自身が医療センターに通院しました。待ち時間については理解していますが、猛烈に調子が悪い中、座ることもできずに待っていました。そこが調整できるとありがたいと思いました。
病院長	その際は大変失礼しました。職員に言っていただければ、体調によってはベッドで待っていただいている患者も多くいます。「具合が悪い方はお申し出ください」といった掲示をするようにします。
看護部長	ご意見ありがとうございます。体調を訴えることができない患者もいるので、看護部でも目配り気配りするように指導していますが、今後も徹底してまいります。
議 長	<p>ご質問等が無いようでしたら、以上とさせていただきます。</p> <p>【4 開会】</p> <p>以上で本日の議事等は、すべて終了いたしました。</p> <p>委員の皆様のご協力ありがとうございました。</p> <p>これで、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回春日部市立医療センター運営委員会を終了とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、誠にありがとうございました。</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7年 12月 2日

署名者の職・氏名

春日部市立医療センター運営委員会 委員長 鬼丸 裕史